

# 資料1

平成7年度 第1回読谷村まち・ひと・しごと創生審議会 議事概要

令和8年1月8日（木）

## 【主な質疑・回答】

Q 1. 汚水処理人口普及率の向上するために、下水道と浄化槽のどちらに重点を置いているか。

➡ 9割以上の交付金を下水道事業に充てて整備を行っている。

Q 2. 下水道と浄化槽とでは、住民にとってどれが良いか

➡ 浄化槽は個人設置となり維持管理は個人で行う必要がある。下水道は公共で維持管理を行うため、住民の負担がかからず水質保全にもつながる。

Q 3. 合併処理浄化槽の維持管理について、個人任せでは放流水質の安定化に懸念があるため、補助金交付後の状況も把握する必要があるのではないか。

➡ 補助金の提出資料において維持管理契約を管理業者と締結した契約書の写しを提出してもらっている。ただ契約の期間は1年間となっているため、その後の維持管理については把握していない。

Q 4. 合併処理浄化槽区域の人口と単独浄化槽と合併浄化槽の世帯数は把握しているか。

➡ 浄化槽区域の人口は、約2万4千人となっている。浄化槽別の世帯数は把握しているが、件数について資料を持ち合わせてない。

Q 5. 中間評価書の目標値について、数値の修正も考えているか

➡ 数値の修正は可能。将来的に『ゆたさむら推進計画』自体の目標値の修正も検討する必要がある。

Q 6. 毎年、村営ビーチで水質調査の検査を行っている。指標の設定について、その水質検査の結果を用いることも検討してはどうか。

Q 7. 評価調書の⑥今後の方針について、整備の計画期間を延長することになっているが、予算要望額は無しとなっている。整備計画の延長を行うが予算内に収まるとの認識でよいか。

➡ 事業費について、増額となる見込みとなっており、増額要求していきたい。